# 資料編

1　令和４年度つくば市不登校に関する児童生徒支援検討会議設置要項 p1

2　利用児童生徒アンケート p2

3　利用児童生徒の保護者アンケート p7

4　体験利用児童生徒アンケート p14

5　体験利用児童生徒の保護者アンケート p15

6　協働事業者による自己評価 p17

7　つくば市による自己評価 p31

8　利用者在籍校への聴取 p33

# 令和４年度つくば市不登校に関する児童生徒支援検討会議設置要項

（目的）

第１条　今後のつくば市の不登校に関する児童生徒支援の方向性について協議するため、つくば市不登校に関する児童生徒支援検討会議（以下「会議」という。）を設置する。

（協議事項）

第２条　会議では、次の各号に掲げる事項について協議する。

(1) 令和２年度、令和３年度不登校児童生徒学習支援事業協働実施の検証に関すること

(2) 令和４年度の公設の不登校児童生徒支援施設の事業評価に関すること

(3) 今後のつくば市の不登校に関する児童生徒支援の施策に関すること

（組織）

第３条　会議は、次に掲げる者をもって組織する。

(1) つくば市教育委員会教育長

(2) つくば市教育委員

(3) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

（開催期間）

第４条　会議は、令和５年３月31日までの期間で開催する。

（招集）

第５条　会議は、つくば市教育委員会教育長が招集する。

（庶務）

第６条　会議の庶務は、教育局学び推進課において処理する。

（雑則）

第７条　この要項に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項が生じた場合は、会議で協議の上決定する。

附　則

（施行期日）

１　この要項は、令和４年５月 10 日から施行する。

# むすびつくば協働事業に関するアンケートまとめ

## 1　アンケート実施目的

令和２年 10 月から令和４年３月まで民間事業者との協働事業として実施した公設の不登校児童生徒学習支援施設「むすびつくば」について、通所した児童生徒とその保護者には施設において必要な支援を行うことができたかなど、体験利用のみの児童生徒とその保護者には利用に至らなかった理由などを伺い、協働事業の検証材料とする。

## 2　アンケート実施内容

(1) むすびつくば利用児童生徒及びその保護者アンケート

①実施期間　令和４年（2022 年）６月 17 日～７月１日

②対 象 者　令和２年度又は令和３年度に、むすびつくばに通所した児童生徒及びその保護者　各 39 名

③調査方法　対象者にアンケート用紙を郵送し、回答を記入いただき、郵送にて回収

④回 答 者　児童生徒：23 名（回答率 59.0％）、保護者：24 名（回答率 61.5％）

⑤集計方法　記述意見については、類似の内容に分類して集計

(2) むすびつくば体験利用のみの児童生徒及びその保護者アンケート

①実施期間　令和４年（2022 年）６月 21 日～７月５日

②対 象 者　令和２年度又は令和３年度に、むすびつくばを体験利用したが入所に至らなかった児童生徒及びその保護者　各 12 名

③調査方法　対象者にアンケート用紙を郵送し、回答を記入いただき、郵送にて回収

④回 答 者　児童生徒：７名（回答率 58.3％）、保護者：７名（回答率 58.3％）

⑤集計方法　記述意見については、類似の内容に分類して集計

## 3　アンケート結果

(1) むすびつくばに通所した児童生徒アンケート　P1～P4

(2) むすびつくばに通所した児童生徒の保護者アンケート　P5～P11

(3) むすびつくば体験利用のみの児童生徒アンケート　P12

(4) むすびつくば体験利用のみの児童生徒の保護者アンケート　P13～14

**問１　むすびつくばに通っていたのはいつですか。（複数回答）**

| | 選択肢 | 回答数 |
|---|---|---|
| 1 | 令和２年度 | 14 |
| 2 | 令和３年度 | 19 |

**問２　むすびつくばに通っていたのは何年生の時でしたか。（複数回答）**

| | 選択肢 | 回答数 |
|---|---|---|
| 1 | 小学校１・２・３年 | 4 |
| 2 | 小学校４・５・６年 | 11 |
| 3 | 中学校７・８・９年 | 13 |

**問３　次の質問で当てはまるもの１つに○をつけてください。（単一回答）**

| | 選択肢 | 5 あてはまる | 4 ややあてはまる | 3 どちらともいえない | 2 あまりあてはまらない | 1 あてはまらない | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | リラックスしてすごせた | 15 | 5 | 1 | 0 | 2 | 4.35 |
| 2 | スタッフがよく話をきいてくれた | 16 | 3 | 2 | 0 | 2 | 4.35 |
| 3 | やる気が出てきた | 12 | 6 | 2 | 1 | 2 | 4.09 |
| 4 | 自分のいいところがあるように感じられた | 9 | 5 | 2 | 4 | 3 | 3.57 |
| 5 | 学習以外の活動が楽しかった | 15 | 4 | 2 | 0 | 2 | 4.30 |
| 6 | 自分で学習したいことが学習できた | 12 | 4 | 0 | 4 | 3 | 3.78 |
| 7 | 学習をすすめるはやさが自分にあっていた | 13 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3.78 |
| 8 | スタッフの勉強の教え方が自分にあっていた | 15 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4.04 |

**問４　あなたがむすびつくばの中で好きなことや良かったことは何ですか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　学習ができたこと | 7 |
| 2　絵を描いたり工作をしたりできたこと | 10 |
| 3　スポーツができたこと | 9 |
| 4　自由にすごせたこと | 17 |
| 5　いろいろなあそび道具があること | 10 |
| 6　新しく友達ができたこと | 14 |
| 7　スタッフやほかの子とおしゃべりができること | 19 |
| 8　サークルタイム（ゴミ問題などについてみんなで話し合った時間） | 6 |
| 9　イベント（筑波山登山、カヌー体験、ジャンベ教室など） | 11 |
| 10　お楽しみ活動（ハロウィンパーティー、クリスマス会、お楽しみ会） | 10 |
| 11　その他 | 5 |

その他の主な意見

**学習・活動内容　３件**

「自分で何をするか決められた」「公園に行けたり、おにごっこができた」

**友人関係　２件**

「友達と楽しくお昼ごはんが食べられた」

**問５　学習の時間で好きなことや良かったことは何ですか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　自分の得意をいかして学べたこと（教え方があっていたこと） | 10 |
| 2　学習を進めるはやさがあっていたこと | 11 |
| 3　教科書に合わせて学べたこと | 7 |
| 4　教科書にないことも学べたこと | 9 |
| 5　自分の好きなことを学べたこと | 10 |
| 6　興味や関心を深めたり広げたりできたこと | 10 |
| 7　ほかの子といっしょに学べたこと | 5 |
| 8　少ない人数で学べたこと | 11 |
| 9　その他 | 2 |

その他の主な意見

「自分が学びたいことを詳しく知ることができた」「落ち着いた雰囲気がいい」

**問６　むすびつくばはあなたのお家から通いやすいですか。（単一回答）**

| 選択肢 | 5 通いやすい | 4 やや通いやすい | 3 どちらともいえない | 2 あまり通いやすくない | 1 通いやすくない | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 13 | 7 | 2 | 0 | 1 | 4.35 |

**問７　むすびつくばの良いと思うところがあれば教えてください。（自由回答）**

**スタッフの対応　８件**

主な意見

「スタッフが優しい」「スタッフが話を聞いてくれたり、興味を持って質問してくれる」「スタッフが〇〇しなさいと言わない」

**学習内容　７件**

主な意見

「好きなことが学習できる」「少ない人数で学習できる」「勉強しなくても良い（気が向いたときに勉強ができる)」

**居場所・ルール　６件**

主な意見

「きびしいルールなどがなく、自由なところ」「友達とゲームができる」「やりたいことをやらせてくれる」

**通所生同士の関係　４件**

主な意見

「コミュニケーションがとりやすく、仲良くなりやすい」「ともだちがつくりやすい」「通っている人同士の距離感がちょうどいい」

**その他　４件**

**問８　むすびつくばの改善してほしい（直してほしい）と思うところがあれば教えてください。（自由回答）**

**学習・活動内容　６件**

主な意見

「学習時間を増やしてほしい」「もっと体を動かせる授業もやってほしい」「外に自由に出て遊べるようにしてほしい」

**通所日数　２件**

主な意見

「通える日数を増やしてほしい」

**その他　４件**

**問１　お子様がむすびつくばに通所していたのはいつですか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　令和２年度 | 16 |
| 2　令和３年度 | 20 |

**問２　お子様がむすびつくばに通所していたのは何年生の時でしたか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　小学校１・２・３年 | 5 |
| 2　小学校４・５・６年 | 12 |
| 3　中学校７・８・９年 | 14 |

**問３　通所方法はどれですか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　自家用車による送迎 | 17 |
| 2　公共交通機関 | 8 |
| 3　自転車 | 6 |
| 4　徒歩 | 7 |
| 5　その他 | 0 |

**問４　毎月のだいたいの通所頻度をお答えください。（自由回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1回～4回 | 5 |
| 5回～8回 | 13 |
| 9回以上 | 2 |
| その他 | 2 |

**問５　むすびつくばについて、次の各項目であてはまるもの１つに○をつけてください。（単一回答）**

| 選択肢 | 5 あてはまる | 4 ややあてはまる | 3 どちらともいえない | 2 あまりあてはまらない | 1 あてはまらない | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1　学習指導が本人に合っていた | 14 | 3 | 1 | 1 | 4 | 3.96 |
| 2　学習をすすめるはやさが本人に合っていた | 12 | 1 | 6 | 1 | 3 | 3.78 |
| 3　勉強の教え方が本人に合っていた | 11 | 5 | 3 | 0 | 4 | 3.83 |
| 4　学習以外の活動を楽しんでいた | 15 | 5 | 0 | 1 | 2 | 4.30 |
| 5　心地よい居場所が提供されていた | 16 | 4 | 1 | 0 | 2 | 4.39 |
| 6　スタッフは児童生徒の特性に応じた支援をしていた | 17 | 3 | 0 | 1 | 2 | 4.39 |
| 7　保護者への対応が適切であった | 12 | 5 | 2 | 1 | 3 | 3.96 |

**問６　むすびつくばを選んだきっかけは何でしたか？（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　学校の教員や相談員にすすめられたから | 4 |
| 2　子どもが落ち着いて過ごせそうだから | 21 |
| 3　子どもに合った学習支援をしているから | 13 |
| 4　学習以外の活動もできそうだから | 13 |
| 5　送迎しやすい立地だから | 14 |
| 6　保護者同士の交流ができるから | 2 |
| 7　保護者対応が良かったから | 7 |
| 8　授業料が無料だったから | 11 |
| 9　つくば市が設置した施設（公設施設）だったから | 6 |
| 10　その他 | 16 |

その他の意見

**協働事業開始前から利用していた・知っていた　６件**

主な意見

「元々ライズ学園で支援を受けており、子どもがスタッフに慣れていた」「通所したことはないが、ライズ学園の存在を知っていた」「知り合いがスタッフだった」

**スタッフの対応　４件**

主な意見

「子どものペースや主体性を優先して、無理強いをしない」「人と関わる事への不安や抵抗が強い子どもへの対応が上手で安心して預けることができた」「スタッフが子どもの話を良く聞いてくれて子どもが心を開くことができた」

**知人からの紹介　4件**

主な意見

「知人から情報を得た」「職場の相談員にすすめられた」

**学習内容　3件**

主な意見

「各教科の専門の先生を配置しているのが魅力」「学校での学び以外にも、学びの選択肢があることを子供に伝えたかった」

**その他　3件**

**問７　むすびつくばに通うようになってから、お子さんの家庭での様子に変化はありましたか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　生活リズムが出てきた | 13 |
| 2　笑顔が見られるようになった | 11 |
| 3　声が大きくなった | 3 |
| 4　会話が増えた | 13 |
| 5　食事の量が増えた | 6 |
| 6　学習への意欲が見られるようになった | 10 |
| 7　その他 | 14 |

その他の主な意見

**コミュニケーションが図れるようになってきた　５件**

主な意見

「少しずつ他人と話すこともできるようになった」「外での人に対する接し方など大きな成長がみられた」「友達との交流に意欲が出て、通学することもできるようになってきた」

**生活習慣や態度に変化がみられた　４件**

主な意見

「生活習慣の改善の兆しが見えるようになってきた」「自分で行く準備をするようになり、登園を楽しみにして生活リズムができた」「家に引きこもることが減り、態度に柔らかさが出た」

**自分や他者に関する意識に変化が見られた　４件**

主な意見

「自信（自己肯定感）を取り戻した」「興味を持つものが増え、それについて話をする事が増えた」「自己理解が深まったり、新しい自分が開けているように感じる」「他者への思いやりや社会的な視野も育っているように感じる」

**学習・将来に対する興味が出てきた　２件**

主な意見

「自分の強み、得意を気づかせてくれるような関わりのおかげで、生きる気力、将来を考えることが少しずつ増えた」「自分以外のことに興味をもち、将来（高校～成人後の仕事のことなど）を考えられるようになった」

**問８　むすびつくばの良いと思うところは何ですか。（自由回答）**

**スタッフの対応　17 件**

主な意見

「子どもの気持ちや主体性を尊重してくれる」「子どもの特性に応じた配慮をしてくれる」「スタッフが優しく子どもへの対応に安心感がある」

**やりたいことができる　７件**

主な意見

「自由度が高く、規則が少ないところ」「いろいろな体験の場を提供してくれるところ」「少人数なところ」「子供が自分のペースでやりたいことに取り組めるところ」

**学習環境　６件**

主な意見

「子どもに合ったペースで学習をしているところ」「楽しく勉強の基礎を教えてくれること」「各教科専門の先生と学習することができる」「マルや点数を求める学習でなく、知識や教養につながる学びを教えてくれる」

**経済的負担が少ない　３件**

主な意見

「無料なので、保護者への経済的負担が少ない」

**通所しやすい立地　３件**

主な意見

「利便性の高い場所（公共交通機関で通いやすい場所）にあり、自力で通うことができる」

**相談対応　２件**

主な意見

「水曜に教育相談ができる」「保護者に対しても対応がとても丁寧」

**問９　むすびつくばへの要望や改善してほしいところはありますか。（自由回答）**

**通所日数が少ない　８件**

主な意見

「週２日では足りないので、もう１日通えればいい」「週４～５日通いたいので、通える日数を増やしてほしい」「行きたいときに行けるようにしてほしい」

**スタッフの配置数が多い　５件**

主な意見

「スタッフの対応、人数が手厚すぎて、子供自身の育つ力の育みが乏しく、子供同士の関わりが希薄」「友人関係が一段と深まるよう、子ども同士の関りが深まる放課後的な時間（大人の目が少し減らせるような）もあると良い」「スタッフの人数が多すぎると感じる。人件費が掛かりすぎているのではないか。」「運営資金が不透明の中、スタッフを増やす理由が不明。ここまで各教科専門スタッフが必要なのか」

**教育内容　４件**

主な意見

「１コマの授業時間を増やしてほしい」「体を動かす機会を増やしてほしい」「放課後もいられるようにしてほしい」「在宅でもオンラインで学習支援が受けられるようになるとありがたい」

**保護者との関係　３件**

主な意見

「保護者の意見を聞き、要望を真剣に受け止めてほしい。」「保護者とのつながりが上手に行われていない」「むすびつくばと別団体で親の会があるので、どちらかでいいと思う（行かなくても毎月500円かかってしまう）」

**事業の運営　３件**

主な意見

「公設フリースクールで居続けようとする、行政への働きかけを辞めてほしい。その運営資金があれば、市内で学校に行きづらい子どもや家庭が助けられる」「今年度の補助金は今年のみの暫定的なものであるが、その認識がむすび自体でない」「継続して運営して頂ける様に頑張って欲しい」

**その他　４件**

**問 10　つくば市には、どのような不登校児童生徒への支援が必要だと思いますか。また、どのような支援を望みますか。（自由回答）**

**不登校に対する学校の対応を見直す　13 件**

主な意見

「不登校の支援や相談を受けられるように、多忙な教員の仕事量を減らす」「教員が発達障害やいじめ、不登校等に関する研修を受講し、知識を身につける」「子どもが学校に行けないことに対する教員の意識を変える」「オンライン学習や家庭学習を評価する基準をつくば市で示す」

**子どもの居場所　13 件**

主な意見

「校内フリースクール」「子どもの特性に沿ったサポートができる人材」「学校外の居場所（フリースクール、日中安心して過ごせる場所等）」「在宅でも学習を教えてもらえる環境」

**相談できる機関、人　8 件**

主な意見

「子どもや親が相談できるコミュニティ」「親の会」「学校、フリースクール、家庭の連携や対話ができる場や仲介してくれる人物」

**不登校に関する情報の周知　6 件**

主な意見

「不登校はよくないというイメージの社会的払拭」「不登校支援情報（相談できる場所やフリースクール等）の子どもへの周知」「保護者が不登校でも大丈夫と思えるような資料（保護者支援）」

**経済的支援　5 件**

主な意見

「公設以外のフリースクールも利用料を無料にする」「フリースクールの利用料助成金」「フリースクールまでのバス代（学割）」

**その他　3 件**

**問１　むすびつくばの体験利用・見学をしたのはいつですか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　令和２年度 | 3 |
| 2　令和３年度 | 5 |

**問２　むすびつくばの体験利用・見学をしたのは何年生の時でしたか。通っていたのは何年生の時でしたか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　小学校１・２・３年 | 1 |
| 2　小学校４・５・６年 | 5 |
| 3　中学校７・８・９年 | 1 |

**問３　むすびつくばに行かなかった理由は何でしたか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　勉強の教え方が合わなかったから | 0 |
| 2　学習以外の活動が合わなかったから | 0 |
| 3　部屋の雰囲気が合わなかったから | 1 |
| 4　スタッフと合わなかったから | 0 |
| 5　利用できる日数が少なかったから | 0 |
| 6　利用できる時間が短かったから | 0 |
| 7　学校に登校するようになったから | 1 |
| 8　他に過ごせる場所があったから | 1 |
| 9　通うのが難しかったから | 0 |
| 10　通うのが面倒だと思ったから | 4 |
| 11　行きたかったが、いっぱいだったから | 1 |
| 12　その他 | 2 |

その他の主な意見

・「オンラインではやる気が出ず、そのまま行きたくなくなってしまった」

**問１　お子様がむすびつくばの体験利用・見学をしたのはいつですか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　令和２年度 | 2 |
| 2　令和３年度 | 5 |

**問２　むすびつくばの体験利用・見学をしたのは何年生の時でしたか。通っていたのは何年生の時でしたか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　小学校１・２・３年 | 1 |
| 2　小学校４・５・６年 | 5 |
| 3　中学校７・８・９年 | 1 |

**問３　むすびつくばを体験利用するきっかけは何でしたか。（複数回答）**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| 1　学校の教員や相談員に勧められたから | 2 |
| 2　子どもが落ち着いて過ごせそうだったから | 4 |
| 3　子どもに合った学習支援をしていたから | 1 |
| 4　学習以外の活動もできそうだったから | 3 |
| 5　送迎しやすい立地だったから | 2 |
| 6　保護者同士の交流ができそうだったから | 0 |
| 7　保護者対応が良かったから | 1 |
| 8　授業料が無料だったから | 3 |
| 9　つくば市が設置した施設（公設施設）だったから | 3 |
| 10　その他 | 3 |

その他の主な意見

「むすびつくばの説明を聞いたり HP を見たりして、考え方や方針などに共感できた」「知人に誘われた」

**問４　むすびつくばに入所しなかった理由は何でしたか。（複数回答）**

| | 選択肢 | 回答数 |
|---|---|---|
| 1 | 勉強の教え方が子供に合わなかったから | 0 |
| 2 | 学習以外の活動が合わなかったから | 0 |
| 3 | 部屋の雰囲気が子供に合わなかったから | 1 |
| 4 | 子供がスタッフと合わなかったから | 0 |
| 5 | 利用できる日数が少なかったから | 0 |
| 6 | 利用できる時間が短かったから | 0 |
| 7 | 子供が学校に登校するようになったから | 1 |
| 8 | 子供が他に過ごせる場所があったから | 0 |
| 9 | 送迎するのが難しかったから | 2 |
| 10 | 子供が行きたくないと言ったから | 3 |
| 11 | 入所したかったが、定員がいっぱいだったから | 1 |
| 12 | その他 | 2 |

その他の主な意見

「子どもの気が向かなかった」「寄付を募っていたため、金銭的に不安になった」

**問５　つくば市には、どのような不登校児童生徒への支援が必要だと思いますか。また、どのような支援を望みますか。（自由回答）**

主な意見

「公的なフリースクールのような場所がもっとあっていい」「無料もしくは低価格のフリースクール」「学校に行けない場合の相談窓口の周知」「担任以外に担当してくれる教員（状況について毎年引継ぎされず、一から説明しなければならないため）」

作成日 2022年 7月 18日

# 協働実証事業 事業者自己評価シート

**事 業 名** つくば市不登校児童生徒学習支援事業

**事業(評価対象)期間** 令和2年（2020年）10月1日から令和4年（2022年）3月31日

**記 載 団 体** 認定特定非営利活動法人 リヴォルヴ学校教育研究所

※ 評価点（５段階）の基準

５点：十分に達成できた ４点：概ね達成できた

３点：達成できた部分もあるが、課題も多く残った

２点：一部達成できたが、さらなる取り組みを要する １点：達成できなかった

## 1 公民協働の観点から

① つくば市と事業者で事業の目的は共有できたか **1**

目的を共有するところから事業が始まるものと認識していたが、教育局と協議をする機会がないままに目的を提示された。当方から提案もしたが、それについて回答はなく、話し合いの場がもたれることもなかった。

② つくば市と事業者の役割分担は適切にできたか **2**

事業開始の準備段階では、双方が手探りながらも役割を分担し環境整備にあたったが、その後については、仕様書にも教育局の役割分担が明示されていなかった。「役割分担」についても、協議の時間をもちたかった。子どもたちの出席状況、不審者情報なども含め、学校との連携について教育委員会の協力を得られればもう少しスムーズに進められたのではないかと感じる。

③ 意思の疎通が図られたか **3**

意思疎通の機会はあったが、話し合われたことが具体的に課題解決・改善までには至らなかった。確認したことが相談なく変更となることがあった。教育相談センター（つくしの広場）の担当者とは各一度ずつ相互を訪問する機会があったが、事業の目的などについて共通理解は十分でなかったと思える。教室の様子を見ていただく機会もなく、保護者の声を聞く機会も設けられなかった。

④ 対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できたか **1**

協働実証事業として始まったはずであったが、そもそも協働という認識に乏しかったように感じられた。①②でも触れたように事業の目的や役割分担が協議される機会がもたれなかったこと、また、振り返りが行われることもなく2022年度の仕様書が作成されるなどしたことから、良好で継続的な関係は築けていなかったと感じる。

⑤ 市民サービスの向上が果たせたか。また、相乗効果・波及効果が得られたか **3**

より多くの児童生徒が、より少ない負担で学びと育ちの機会を得ることができた点においてサービスの向上ができた。一方、定員を超えて希望者が集まったことから、入所まで長く待っていただく事態にもなった。

新たな支援方法に関して、研修機会や教材・指導方法のフィードバックを提案したが回答がないままに終わっているなど学校教育の現場や関係機関との相乗効果や波及効果までには至っていない。

## 2 事業実施概況

① スタッフ間で事業の目的・目標を共有できていたか　4

スタッフ間では日々の打ち合わせや振り返りを重ね、目的・目標を大方確認、共有できていた。

② スケジュール通りに実施できたか　5

コロナ禍の影響により体験活動の機会を一部見送るなどしたことを除けば、スケジュール通りに開所できた。臨時休業中には、オンライン教室を開くなど工夫した。

③ 実施にあたり事業費積算は妥当だったか　1

事業開始にあたって、2020年度は備品費が積算されていなかった。教科学習支援にあたるスタッフは教職員免許保持者であることといった説明もあったが、それにふさわしい人件費が積算されていたとは思えない。仕様書には相談業務が記載されているにもかかわらず、そのための経費は確保できなかったという説明でもあった。事業規模から考えれば事務員の配置も必須と考えるが、それらについてはまったく考慮されていなかった。

④ 運営体制を整えることができたか　3

常勤スタッフもいれば、週1日勤務のスタッフもいる中で、仕事の分担、連絡調整も難しく、事務スタッフを配置できないなども非常に厳しい状況だったが、同一地域内で活動する団体や個人の協力も得ながら何とか体制を整えることができた。

⑤ 受益者（市民）の満足度は十分に図られたか　5

2021年末、2022年初の個別面談では、特に改善点を指摘する声もなく、この度、外部の専門家に協力を依頼した聞き取り調査からも満足度の高さがうかがえた。

## 3 仕様書･事業内容に示された項目について

① 学習支援活動は適切に実施できたか　5

活動全体を通して、広い意味での学びを計画的にサポートできた。
子どもたち一人一人の希望や到達度に寄り添い、苦手意識が強く、いわゆる教科学習には拒否反応を示す児童生徒には、読み聞かせや遊びの中での学びの時間を設けるなどした。
コロナ禍で体験的な学びの機会は制限を受けたが、絵画造形の時間などでの自己表現活動やスポーツの時間などで力を合わせる経験などを通して、全人格的な成長を支えることができた。

② 新たな支援方法を構築できたか　5

読み書きに特異な困難を示す児童生徒が複数在籍したが、教科学習に際しては、独自に開発した教材を活用するなどして、苦手を補う工夫とともに得意を伸ばすことに努めた。特に書くことに拒否反応を示す子には、ICT機器を活用するなどして、成果をあげることができた。
『勉強にはいろんなやり方があって、（略）「書いて覚えなくてもいいんだよ」（略）「人それぞれ、自分1人1人に合う勉強の仕方があって、その勉強の仕方でやればいいんだよ」って言われたのがすごく救いだった』などの声もあった。

③ 安心して過ごせる環境を創出できたか　5

備品の配置も子ども目線であることを心がけ、子どもたちと話し合いながら環境づくりをしてきた。また、1人ひとりの個性をポジティブにとらえ、一人ひとりの心に寄り添うように努めた結果、子どもたちや保護者を対象におこなったヒアリング調査でも「先生たちがちゃんと話聞いてくれるので（略）、言えないことをちょっとずつ言えるようになった」「ここでは　子供はどう考えているんだろうみたいな感じのことをまず考えてくださるので、子供はすごく安心感があると思う」「子供の安心安全を1番に考えてくださるので（略）、1人1人のこの子にとっての安全はこれ、この子にとっての安全はこれって先生方がすごく詳しく見てくださってるので、その子供の安心安全を守るっていうことを最優先にするっていうのを継続してもらいたい」などの声が多数寄せられた。
音や光に敏感さを訴えていた子も普段通り過ごす様子が見られた。

④ 教育相談は適切に実施できたか　5

保護者を対象とした教育相談は、つくば子どもと教育相談センターに協力いただき、実施した。好評を得ており、予約も早々に埋まるようになってきている。スタッフとのコミュニケーションを重ねることで、子どもたちの支援に生かすこともできた。

⑤ 学び推進課、教育相談センターおよび在籍校との連携はできたか　2

所属校には毎月、出席日数、活動状況を報告した。子どもの様子で共有したい事項があるときに、なかなか電話がつながらないことが多かったが、一部、担任の先生がむすびつくばを直に訪れコミュニケーションを重ねた学校では、児童の言動に大きな成長が見られたケースもあった。

⑥ 安全管理は適切であったか　3

スタッフ研修にも救命救急講習などを取り入れ、室内の清掃、消毒にも注意を払った結果、新型コロナウイルス等の集団感染を防ぐことができた。しかし慣れからくる気のゆるみから、換気を忘れてしまうこともあった。また、防犯用具の準備も十分にできていなかった。
医療個票で子どもたちの健康状況を把握したり緊急時の連絡先を確認するなどしたが、不審者情報等の共有も含め、在籍校との連携が課題として残った。校医も依頼できていない。

⑦ スタッフの研修の機会を確保できたか　5

毎朝、毎夕、子どもたちの言動を振り返り、その時々のスタッフの対応を互いにアセスメントすることで、ひとりよがりや思い込みによる善意の押しつけにならないように努めた。また、非常勤のスタッフも含めて、毎月、原則第3水曜日には全員が顔を合わせてのミーティングを持ち、そのうち2か月に1回は研修の機会を持った。限られた予算と時間の中で、外部講師を招いての研修以外に他団体が主催する研修会にも参加した。

⑧ 期限までに書類の提出はできたか、また、手続きで改善すべき点はあったか　3

書類はあらかた期限内に提出できたが、定員が当初の15名から40名に増えたこともあり、事務の負担が大きかった。押印の省略、電子化など改善を要する部分もあった。

## 4 その他

・現在地は駅から近いという利点はあるが、水場、音響などで課題がある。受け入れ人数が増え、さらに子どもたちが元気を取り戻すにつれ、音に敏感な子からは、「教室が賑やかすぎる。もっと広いほうが良い」という声も上がるようになってきている。
・屋外に植物を育てたり、体を動かすなどできる場所がないために、室内で過ごす時間が長くなった。
・仕様書には「個別指導計画（IEP）の立案」が記載されているが、子どもたちやその保護者、さらに学級担任との相談も機会を設けることが難しかった。SCやSSWなどの専門スタッフの配置を希望する。
・学校のあり方も含め、市全体としての子育ち支援計画を共有したい。

# 令和２・３年度むすびつくば事業 自己評価付属資料「子どもヒアリング調査」

＜目的＞

認定ＮＰＯ法人リヴォルヴ学校教育研究所による「むすびつくば」は、つくば市との「協働実証事業」として令和２年10月より開設されたが、当事者の声が反映された事業評価が実施されていないことが課題となっていた。

本ヒアリング調査では、むすびつくばの良いところ、改善点等をヒアリングしながら、子どもたちが感じているむすびつくばの実態、ニーズの把握に努めることを目的とする。

＜方法＞

日程：令和４年６月27日(月)～令和４年７月１日(金)　各15分～30分程度

対象：令和２・３年度にむすびつくばに通っていた児童生徒10名

場所：むすびつくば教室

インタビュアー：子どもたちが指名したスタッフ

インタビュイー：

| 協力者 | 令和４（2022）年度状況 | むすびつくば利用歴 | |
|---|---|---|---|
| | | 2020年度 | 2021年度 |
| Ｉさん | 私立大学２年生男子　　※卒所生 | 高３ | － |
| Ｊさん | 通信制高校２年生男子　※卒所生 | 中３ | － |
| Ｋさん | 公立高校２年生女子　　※卒所生 | 中３ | － |
| Ｌさん | 月木コース週２日女子　学習スペース利用 | 中１ | 中２ |
| Ｍさん | 月木コース週２日女子　学習スペース利用 | 中１ | 中２ |
| Ｎさん | 火金コース週２日女子　フリースペース利用 | 中１ | 中２ |
| Ｏさん | 月木コース週２日男子　学習スペース利用 | 中１ | 中２ |
| Ｐさん | 火金コース週２日男子　学習スペース利用 | 小６ | 中１ |
| Ｑさん | 火金コース週２日女子　フリースペース利用 | 小６ | 中１ |
| Ｒさん | 月木コース週２日男子　フリースペース利用 | 小５ | 小６ |

■ヒアリング項目

１，むすびつくば では、良い時間を過ごせていましたか？（過ごせていますか？）

２，むすびつくば のどんなところが好きですか？

３，むすびつくば がもっとこんな風だったらいいのにと思うことはありますか？

４，その他、伝えておきたいことがあれば教えてください。

# 子どもヒアリング調査の結果まとめ

文責：認定特定非営利活動法人リヴォルヴ学校教育研究所

子どもヒアリング調査の結果を、子どもたちが使った言葉を残しつつ、以下の諸観点から整理した。

## （1） スタッフとの関係性

- （スタッフとも子ども同士でも）上下関係がない。でも、なさ過ぎる訳でもない。
- 自分の話をよく聞いてくれる。その意見が反映されることもまあまあある。
- 気を使わないで話せる。
- 先生たちがちゃんと話聞いてくれる。そのまま話聞いてくれるので、言えないことを、ちょっとずつ言えるようになった。
- スタッフミーティングはあるけど職員室はない、壁がないのが良い。
- 先生たちがほんわかしてて優しい人ばっかりで、授業で間違えても怒らない。それがすごい自分にとっては嬉しい。
- 悪い意味じゃなくて、いい感じで、ぶっちゃけてる。いろいろ言える環境がある。
- 最初は一人のスタッフとしか喋らなかったけど、今は（スタッフとも子ども同士でも）いろいろな人とずっと喋るようになった。

## （2）学びと育ちのサポートに関連して

- 勉強に抵抗は感じなかったけど不安は強くあって、行ったら最初に、どの教科でも「どこから始める？」と聞かれたのが驚きだった。
- 勉強を丁寧に教えてくれる。
- 勉強がきらいで、すごく辛かった。だからやんなかったのに、やんないとなんかまた辛い。やんないならやんないで自己嫌悪になるし、やるならやるで辛いし、自分はどうすればいいんだって思ってた。むすびつくばに来て、勉強することが辛くなくなったし、やってて安心する。自分が頑張ってる、できたと思える。
- 時間割の枠はある程度あるが、勉強の中でも自由さ、気楽さがあった。戻ってやったり、試しにやってみようということで微分積分をやったり、やりたいということができるのも良かった。今はこれをやるときだからそれはやれないということはなかったのが良かった。
- テストがないところが良い。本質的なところで「●●がわかるようになった」「できるようになった」というように、勉強を頑張っている自分を感じられた。
- （その日の体調などによって）学習も言えばちゃんと休めるし、学習の内容や量を調整してくれるのでやりやすい。
- 「義務教育」（という言葉）に縛られて「必ず授業受けなきゃいけない」とか「絶対それをやらなきゃいけない」みたいなのがすごく嫌。むすびつくばはそれがない。
- 学校に行かないと体育しないけど、体を動かすのは好き。もっとスポーツをやりたい。

・　スポーツの時間は、言葉がなくても人と関われるのがいいと思う。「関わって楽しい」みたいな体験ができる。
・　農園に行ったことがめちゃめちゃ楽しかった。みんなで自然と触れ合うとか、おいしいもの作って食べたりとか、共同作業っていうか、そういうのは割と好きだった。
・　調理をする時間が欲しい。スポーツや絵画造形のような形で。
【註】リヴォルヴでは野菜などを育て、調理し、食べることを大切にしてきたが、事業期間中はコロナ禍のためこれらの活動は制限せざるを得なかった。
・　（学校と違って）みんなで食べる感があって、楽しい人と一緒に食べるから、お昼の時間が楽しい。
・　（フリータイムで）遊ぶときに外に行けるのが良い。
・　（むすびつくばに）いられる時間がもっと長いといい。

**（３）その他**

・　同じ境遇の人が来てる安心感がある。
・　来やすい、休みやすいという点で、来るハードルが低い。久しぶりに学校へ行くと無駄に心配されるのは、「学校に行く」ということが前提にあるから。むすびつくばでは、「他の子と前提が同じ」であることがハードル低め。
・　いろんな年代の人、いろんな価値観と出会える。
・　第３の学びの場としての役割。客観的に自分を見られる。
・　朝早すぎないのがいい。
・　自由だけど、自由過ぎる訳でもない。
・　スタッフが急に入れ替わったりしないことが良かった。不安定な時期に、せっかく信頼して話そうって思ったとき、言えなかった本心をその人にはというタイミングで話ができないと、その後　響いてくると思う。
・　スタッフの数を増やしてほしい。
・　お昼を食べる時間がないスタッフがいたりして大変そう。疲れてないかなと思う。
・　小学生の子がすぐに話しかけてくるのが嫌。
・　新入生がたくさん入ってくるようになって、ついていけないこともあった。
・　特に小学生の人数が増えて、話したいことが話しにくくなった気はする。
・　高校生までいられるようにしてほしい。

＜ヒアリング所感＞

在籍期間の長い子から声がけをし、10 名にヒアリングをした。子どもたちの中には「面談のようなかしこまった場は苦手」という子もおり、時間が限られた中、どれだけその思いを受け止められたかは疑問が残る。時間をかけて寄り添うとともに、普段の何気ない会話の中でもよりよく聞き、記録することの大切さを再認識した。

また今回は話しやすさを優先し子どもたちにインタビュアーを選んでもらったが、聞き手によって内容の深みに違いもあったように思われる。客観性という点からも、万が一、子どもたちがスタッフに不信を抱いたときにもその声の受け止め手となるアドボケーターの配置も必要だと考えた。

とは言え、このような機会があったことで、スタッフが初めて聞くことのできた言葉も多くあった。また、子どもたちがその成長を振り返り、言葉を紡ぐ様子にも驚かされた。聴くことは一人ひとりが自身を見つめることにつながり、それが共に場をつくる存在としての子どもの成長を促すことも感じており、子どもの声を聴くことの重要性を認識した。

# 令和２・３年度むすびつくば事業　自己評価付属資料「保護者ヒアリング調査」

＜目的＞

認定ＮＰＯ法人リヴォルヴ学校教育研究所による「むすびつくば」は、つくば市との「協働実証事業」として令和２年10月より開設されたが、当事者の声が反映された事業評価が実施されていないことが課題となっていた。

本ヒアリング調査では、むすびつくばの良いところ、改善点等をヒアリングしながら、保護者の皆さんが感じているむすびつくばの実態、ニーズの把握に努めることを目的とする。

＜方法＞

日程：令和４年６月26日(日)13時～17時、令和４年６月28日(火)11時～17時　各40分程度
対象：令和２・３年度にむすびつくばに通っていた児童生徒の保護者８名
場所：6月26日(日)：むすびつくば教室応接室、6月28日(火)：スタートアップパーク会議室
インタビュアー：
常磐大学人間科学部教育学科助教　小山田建太
【茨城県水戸生涯学習センター 課題解決チャレンジ事業 委員長】

茨城県水戸生涯学習センターの「課題解決チャレンジ事業」の委員長として、不登校・ひきこもりの状態にある子どもの支援に携われる支援者の育成や、支援のためのネットワーク構築に取り組んでいる。具体的な活動としては、不登校・ひきこもり支援を学ぶ研修会の開催、また県内で不登校・ひきこもり支援をおこなう民間教育施設との交流会を実施した。現在は、希望者による同施設でのボランティア活動を推進中である。

インタビュイー：

【6/26（日)】むすびつくば応接室

| 協力者 | 令和４（2022）年度<br>子どもの状況 | 子どもの<br>むすびつくば利用歴 | |
|---|---|---|---|
| | | 2020年度 | 2021年度 |
| Aさん | 通信制高校２年生男子　※卒所生 | 中３ | － |
| Bさん | 火金コース週２日女子　フリースペース利用 | － | 小２ |
| Cさん | 火金コース週２日女子　フリースペース利用 | 小６ | 中１ |
| Dさん | 私立大学２年生男子　※卒所生 | 高３ | － |

【6/28（火)】スタートアップパーク第４会議室

| 協力者 | 令和４（2022）年度<br>子どもの状況 | 子どもの<br>むすびつくば利用歴 | |
|---|---|---|---|
| | | 2020年度 | 2021年度 |
| Eさん | 全日制高校１年生男子　※卒所生 | 中２ | 中３ |
| Fさん | 火金コース週２日女子　フリースペース利用 | 中１ | 中２ |
| Gさん | 月木コース週半日男子　フリースペース利用 | 小６ | 中１ |
| Hさん | 全日制高校２年生女子　※卒所生 | 中３ | － |

■ ヒアリング項目

I. フェイスシート

① 利用開始時と現在のお子さんの年齢
② お子さんの性別、現状、利用状況を教えてください。
③ むすびつくばに通い始めた経緯を教えてください。

II. むすびつくばについて

④ お子さんは、むすびつくば で良い時間を過ごせている(た)と思いますか？
⑤ むすびつくばに通うようになってから、お子さんの家庭での様子に変化はありましたか？
⑥ 保護者の方から見て、むすびつくば のどんなところが良いと思いますか？
⑦ 今後むすびつくばが子どもたちにとってどのような場であれば良いと思いますか？
また、どのような支援を期待しますか？
⑧ 今後、むすびつくば で改善してほしいと思うところがあれば教えてください。
⑨ その他、伝えておきたいことがあれば教えてください。

# 保護者ヒアリング調査の結果まとめ

文責：常磐大学人間科学部教育学科助教　小山田建太

保護者ヒアリング調査の結果を、以下の諸観点として整理した。なお、詳細は「保護者ヒアリング調査結果 詳細資料」を参照のこと。

## I.　保護者が感じる、むすびつくばの良さ

保護者が感じるむすびつくばの良さとしては、以下の点が挙げられている。

### (1) 子ども一人ひとりの学習の仕方を認めてくれる

全ての保護者は、子どもが学校での画一的な学習方法には不安があることを語るが、一方でむすびつくばでは、時間割が必ずしも「分単位」でないことや、子どもを縛る過ごし方の決まりがないこと、教科書でなく自身の関心のある題材や教材での学習も認められること、事前に持ち物の準備をしなくてよいこと、来所を強制されないことなどの工夫によって、「その子の立場に立った」学習ができることが高く評価されている。特にむすびつくばには書字に不安を覚える子どもが多く通所しているが、スタッフは「書いて勉強するだけが勉強じゃないから、勉強には色んなやり方があるんだから、書いて覚えなくてもいいんだよ」などといったメッセージを伝えてくれるという。そしてこのような働きかけによって、「自分の学習の仕方を認めてもらえてやっていく」という実感を得ることができ、ひいてはこのように「自分を認めてくれる人のことは認められるみたいなところは絶対あると思う」とも付言される。

### (2) 専門性の高い学習指導や、教育理念の魅力

各専門の教科の先生のもとで学習を手厚くサポートしてもらえる点についても、複数の保護者が期待するニーズとなっている。例えばEさんは、学習障害などの子どもに対しても学習指導を通して一人ひとりに応じた不登校支援に取り組んできたリヴォルヴ学校教育研究所の教育理念やノウハウに強く惹かれていることを語る。またDさんは、そのような学習指導によって学校の学習内容を修了できたことが、子どもの自信になっていたと述べている。

### (3) 勉強が「ちらつく環境」、「遊び勉強」

子どもがスタッフと話すことやフリースペースに通うことを特に楽しんでいる場合にも、むすびつくばが勉強が「ちらつく環境」であることに保護者は安心感を覚えている。またBさんの子どもは、スタッフが子どもの好奇心にもとづく「面白い教え方をしてくれ」るために、むすびつくばでの学習を「遊び勉強」として形容しており、その「遊び勉強がすごく大好き」だと語っているという。

(4) 気持ちや意見を受け止めてもらえる

多くの保護者が、子どもがスタッフとのコミュニケーションが好きであることを指摘しており、スタッフが親にも受け止め切れない子どもの興味・関心の話を「全部の神経で聞いてくれる」のだという。

またむすびつくばのスタッフには、子どもが「嫌」だと思う気持ちを察してもらい、そしてその「嫌」だという意見を尊重してもらえるために、子どもや保護者は強い信頼感や安心感を覚えているという。このようにむすびつくばのスタッフは、子どもにスタッフ（や保護者）の願望を決して押し付けることなく、子ども一人ひとりがどのような気持ちや意見であるかを丁寧に把握し、また彼らの反応を待つ姿勢が見られるとされる。

なおこのようなスタッフの優しさが、「上部だけ」のものでないことについても複数言及されている。それぞれの保護者の目から見た子どもが、人間不信になっていることや、心が傷ついていること、勉強が好きでないこと、あるいは余計なおせっかいをかけられることが嫌いであることなどが推察されるなかで、スタッフは子どもに対する「高圧的な関わり」や「大人の一方的な何かを押し付けるような関わり」を避け、対等に子どもとかかわり合おうとしているように感じられるという。この点について B さんの子どもは、「学校は先生が一方的に 100 パーセント喋って黙って聞いていないといけないんだけど、むすびだと大人と子どもの会話量が半分ずつなんだ」と話してくれるという。

(5) 人間関係のかかわりを学べる

人間関係の構築に子どもの課題があると感じる保護者にとっても、「誰かと関わる」機会があるむすびつくばの場が好意的に捉えられている。また D さんは、「フリータイム」を「ソーシャルワーク」の時間としてスタッフが営んでくれたことによって、子どもの「自分と人と先生との関わりとか、そういうのを育ててもらった」と感じている。

(6) 子どもの成長や変化をフィードバックしてくれる

むすびつくばで見られた子どもの成長の姿をスタッフが保護者にフィードバックしてくれることも、「改めてその子の良さっていうのを認識できる」ため、「すごくいいな」と語られている。

(7) 行政や学校との連携

むすびつくばが教育委員会や学校との連携に意欲的である姿勢も評価されている。そしてこのような連携・協働のなかで、「学校の教え方」に対して「他の学び方もあるよねっていうので、こう認め合って、こう繋がっていけると」良いとする見解も示されている。

## 2. 子どもの変化

むすびつくばに通うなかでの子どもの変化として、家族でご飯を食べられるようになった、家族以外の大人との会話に慣れてきた、表情が豊かになった、周囲の人に気を遣えるようになった、身長が伸びた、精神状態が安定した、生活習慣が改善した、など様々な観点が言及されているが、以下ではむすびつくばの教育活動全般に大きな意味を持つと考えられる観点を抽出したい。

### (1) 勉強することが楽しくなった

学校の勉強に苦手意識がありつつも、むすびつくばでの時間を通して勉強することそのものが楽しくなったとする語りも示されている。H さんは、むすびつくばの先生が自分の専門分野の内容を子どもに「『本当にこれ面白いんだ』と思ってやってることを子ども向けに（略）投げかけてくる」ために、子どもも「その先生が面白そうにやってるから引きこまれちゃう」のだと指摘する。したがって H さんの子どもは、「勉強ってものがどういうことなのかっていう、考え方が変わ」って、「勉強することが楽しくなった」のだという。重ねて H さんはこのような子どもとスタッフとの関係性を、「昔の徒弟制度」とも表現している。そして B さんも、子どもが「不登校になってすぐは勉強とか教科書も本当に全く見たくなかったのが、今は家で少し教えようとした時に受け止めるようになってきた」と感じている。

### (2) 自信が出た、主体的な自己表現ができるようになった

B さんは、家庭での子どもが「自信が出たり、強気になってきた」などの主体的な自己表現ができるようになってきた変化を感じ、また同じタイミングでむすびつくばのスタッフからも同様の話をされたという。これまで B さんの子どもは、学校で困っていても先生に働きかけることができなかったというが、現在は「家庭とは違う顔を見せないで、むすびでも同じ顔が見せられてるんだなと」その変化を肯定的に捉えている。

### (3) 先の見通しを持てるようになった

F さんは、むすびつくばに通う以前の子どもは「生活全般がネガティブ」だったというが、むすびつくばに通うなかで「こう心持ちが明るくなれるんだなっていうのは、もう見てて分かった」と述べる。そして現在の F さんの子どもは、「生きていても悪くないかも」と自身の「先の見通し」を持ち始めるようになったといい、生活リズムも徐々に回復しつつある。

### 3. 親の意識の変化

上記のような子どもの変化にかかわって、親自身の意識も変化したことが語られている。F さんの夫は、以前は学校に通わない子どもの将来を案じていたが、夫婦間での話し合いや、子どもが「時間を追うごとに（略）良くなっていく」姿を見るなかで、「今はこうするしかないかなっていう風に、意識が」変わっていったという。また A さんは、小野村さんとの対話のなかで「みんなと同じことをやらなくちゃいけない」などといった価値観を相対化することができ、色んな「人生があってもいいのかなみたいな感じに変えていくことができた」と語る。したがって今では、子どもへの接し方にも「余裕が持てるようになった」と感じている。

### 4. 今後のむすびつくばに対する要望や期待

要望として、学習のために個室を用意してほしい、あらゆる教科に対応できるスタッフを常時揃えてほしい、少人数学習により対応できるようにしてほしい、開所日をもう少し増やしてほしい、保護者同士のコミュニケーションの場がほしい、といった意見が挙げられている。またその他、課題性が高いと捉えられる要望の観点を、以下にまとめたい。

(1) 子ども同士の触れ合いの場

多くの保護者に共通する要望としては、子ども同士の触れ合いの機会を増やしてほしいということがある。多くの保護者は子どもとスタッフとの密な関係性を評価する一方で、子ども同士がかかわり合う場が乏しいと捉えている。この点について C さんは、子どもがむすびつくばでスタッフからの様々なサポートを受けながら現在「とても心地良く過ごしていると思って」いるものの、それでも「やっぱりちょっと不愉快な場面とかって、やっぱ、生きていくのに絶対に必要」で「避けて通れない」と考えるために、「不愉快」なことを「みんなで解決していく」ような経験が得られればと考えている。加えてこのような「不愉快」な経験を用意する際には、「何の解決策もないところでそういうことになっちゃうと」大きな問題に発展してしまうために、「そういう解決策がちゃんとある」と感じられるむすびつくばの場で、「そういう場面」も「もう少し用意されるといいんじゃないかな」と述べている。重ねて B さんは、子どもからも「信頼感」のあるむすびつくばの場で、「色々なトラブルも経験しながら人間関係を深めていく」ことを期待している。

なお上記の点に関連して、文化祭や修学旅行といった「普通の小学校中学校で体験できるような」活動を増やしてほしいという要望も挙げられている。

(2) 活動を持続的に維持させられる体制作りについて

全ての保護者が今後もむすびつくばの活動の継続を望んでいるが、保護者からはむすびつくば設立以降で「前に比べたら忙しそう」だとする実感や、スタッフのワークライフバランスを心配する声などが示されている。そして今後の要望として多くの保護者が、活動を持続的に維持できる体制作りを求めている。

その体制作りの具体例としては、今後の専門性を有するスタッフの育成や、学年や人数に対応できるスタッフの増員などが挙げられる。なおこのような問題の背景には、むすびつくば以降で通所する子どもの数が増大したことが考えられる。

(3) 保護者の多様な期待と、むすびつくばの立ち位置について

公的な事業となったこともあり、多様な保護者を受け入れることとなったため、保護者のニーズが多様化していることについても言及されている（例えば、学習の時間を増やしてほしい、遊びの時間を増やしてほしい、など)。またこの状態では声の強い保護者の期待が反映され過ぎてしまう懸念も生じるために、むすびつくばには「『うちはこういうところです』っていう支援の仕方」や「カラー」を明示してほしいとする語りも確認される。

前述の通り、多様な子どもたちへの学習指導に強みを持つリヴォルヴ学校教育研究所の教育理念に惹かれる保護者が多く存在する。公的事業として営まれる教育支援の場はあらゆる保護者のニーズにも十分に応答する必要があり、公的事業としてのむすびつくばの立ち位置が問われている。

**作成日　令和４年（2022年）7月19日**

協働実証事業　事業者自己評価シート

| | |
|---|---|
| **事　業　名** | つくば市不登校児童生徒学習支援事業 |
| **事業（評価対象）期間** | 令和２年（2020年）10月１日から令和４年（2022年）３月31日 |
| **記　載　団　体** | つくば市 |

※　評価点（５段階）の基準
５点：十分に達成できた
４点：概ね達成できた
３点：達成できた部分もあるが、課題も多く残った
２点：一部達成できたが、さらなる取組を要する
１点：達成できなかった

**１　甲（つくば市）の役割**

仕様書の内容
ア　施設の提供
イ　実証に要する経費の支援

**①　施設管理及び経費の支援は適正に行ったか。**　3

・ガラス修繕や駐車場の除草など、施設管理を適正に行うことができた。
・つくば市では令和２年度に実施した協働事業者の公募要領において事業内容や事業費の限度額を示し、事業者１者のみが公募に参加した。事業開始後、事業者からは特に人件費の積算について、金額が足りていないとの意見があった。

**２　事業の周知**

仕様書の内容
・甲乙は、開設後の通所促進及び地域の理解・協力につながるよう、広報・周知活動を行うものとする。

**②　どのように事業の周知活動を行ったか。さらに周知を図るために工夫できることがあるとしたら、どのようなことか。**　2

・令和２年10月の協働事業開始時に、市内全小中学校及び義務教育学校に対し、むすびつくばの事業概要を配付して周知した。また、各学校に対しては、不登校児童生徒の保護者に事業概要を周知するよう依頼した。
・つくば市として、利用者向けのチラシやホームページ等の作成を行っていないため、つくば市から保護者への周知は不足していた。

**3　入所の申込**

仕様書の内容

・入所については、甲乙で協議の上、判断し、入所が決定し次第、すみやかに入所承諾通知書（様式第２号）を保護者及び在籍校に通知する。

**③　規定どおりの手続きができたか。また、手続きで改善すべき点はあったか。**　3

・事業者からは速やかに入所承諾通知書が提出された。
・事業内容や入所者について、つくば市と在籍校間の連携が取れていれば、事業者と在籍校間での情報連携もスムーズにできたと思われる。

**4　連絡会議**

仕様書の内容

・甲は、乙と教育相談センターとの事例共有や連携強化を促進するため、連絡会議を開催する。

**④　連絡会議は開催したか。また、会議内容や開催方法について、良かった点や、改善すべき点はあったか。**　2

・令和３年９月に教育相談センターにおいて会議を開催し、お互いの事業内容について情報共有を行った。しかし、１回しか行うことができず、事例や課題の共有について連携が不十分であった。

**5　その他**

・日頃のコミュニケーションが取れておらず、協働事業の運営に対する要望や課題等に関して、事業者との連携が不十分であった。

## むすびつくばに関する利用者在籍校のアンケートまとめ

### 1　アンケート実施目的

令和２年 10 月から令和４年３月まで民間事業者との協働事業として実施した公設の不登校児童生徒学習支援施設「むすびつくば」について、この支援施設を利用した児童生徒が在籍していた学校に対し、むすびつくばとの連携状況や当該児童生徒への関わり方等を伺い、協働事業の検証材料とする。

### 2　アンケート実施内容

(1) 実施期間　令和４年（2022 年）６月 27 日～７月６日

(2) 対 象 者　令和２年度又は令和３年度にむすびつくばに通所した又は体験利用をした児童生徒が在籍していた市内公立小中学校及び義務教育学校　全 24 校

(3) 調査方法　学校毎にアンケート用紙（エクセルデータ）に入力し、回答

(4) 集計方法　各学校からの自由記述意見を、類似の内容に分類して集計

### 3　アンケート結果

**問１　むすびつくばでの児童生徒の学習及び活動の様子について、どのように情報を把握していましたか。**

・保護者からの聞き取り（電話、面談、家庭訪問等）　12 件
・むすびつくばからの出席状況報告書による確認　９件
・児童生徒からの聞き取り（面談、登校時等）　８件
・担任や SC とむすびつくばの情報交換（担任や学年主任等の施設訪問、むすびつくばの学校訪問等）６件

**問２　不登校児童生徒に対し、むすびつくばの案内はできましたか。**

・案内できた（担任や SC との面談時、文書配付、校内にリーフレット掲示等）　16 件
・できたりできなかったりした　４件
・案内するよりも前に、保護者が自ら調べて見学等を行った　３件
・できていない　２件

**問３　むすびつくばに通所する児童生徒について、学校内でどのように情報共有を図っていましたか。**

・会議（生徒指導部会、職員会議、ケース会議等）　19 件
・報告書やむすびつくばからの資料を回覧（管理職、教務主任、生徒指導主事、担任）　６件

**問４　むすびつくばについて、教職員はどの程度理解していましたか。**

・全職員が理解していた（理解できるように努めていた）　12 件
・関係職員（担任、学年の職員）以外は理解が不十分だった　10 件
・その他　2 件

**問５　むすびつくばに通所して、児童生徒の様子に変化は見られましたか。**

・表情や態度に変化があった（明るい表情、自信がついた様子、学習意欲の向上等）　11 件
・行動に変化があった（学校行事への参加、人との関わりに変化がみられた等）　8 件
・特に変化は見られなかった　5 件

**その他自由意見**

・むすびつくばを紹介するポスターや案内があると、保護者へ紹介しやすい。
・保護者もむすびつくばにお世話になるようになって、安心している様子である
・定期的に情報共有し、先（進学等）の見通しを含めた対応をしたい。
・生徒本人たちが少しでも将来の夢や希望をもてるよう、力を貸していただけたらと思う。
・不登校生徒にとって貴重な場所であるので、不登校生徒の情報を電話等でも共有したい。
・これからも連携を図りながら、子どもたちの成長を見守りたい。
・通いたいという希望をもつ生徒・保護者がいる一方で、受入人数の関係で二の足を踏むケースも見られた。